

| | | |
|-------------|-------------------------------|----|
| グラビア | 地域を支える人 久保善高さん・東京都中央卸売市場築地市場 | 1 |
| 発掘!地域の希望のタネ | 秋田県仙北市 〈あきたいぶり美人〉 | 5 |
| 給食のじかん | 〈小あゆの野菜あんかけ〉彦根市職員労働組合連合会 瀧居順子 | 6 |
| | 熊本地震 現地レポート | 8 |
| 焦点 | 障害者差別解消法がスタートして 崔 栄繁 | 10 |

特集 民意を政治へとどけるために

| | | | |
|--------|---------------------|------|----|
| インタビュー | 民意を反映する政治をめざして | 三浦まり | 18 |
| | 一八歳選挙権に息を吹き込む「票育」 | 後藤寛勝 | 26 |
| | 若者と考える、投票率向上プラン—松山市 | 大隅哲平 | 31 |
| | 合区選挙区から一票の格差を考える | 北尾雄一 | 37 |
| | 英国の選挙制度と民意 | 高安健将 | 42 |

| | | |
|------------------|--|----|
| 書評 | 琉球新報社論説委員会著『沖縄は「不正義」を問う』 菅原敏夫 | 51 |
| さき咲きコラム | 熊本地震と自治体の役割を考える 江崎 孝 | 52 |
| 特別レポート | 熊本地震と自治労支援行動の意味 三浦一力 | 54 |
| | 地方自治研究所と連携する自治研活動—福岡県本部 島添幹子 | 56 |
| 各県自治研活動レポート | 「市町議会の在り方に関する研究会」 【報告・提言】を公表!!—三重県地方自治研究センター 高沖秀宣 | 58 |
| 自治研チャレンジサポートのススメ | 仲間とともに変化を起こし、一歩前へ!—米沢市職労青年部 安部裕貴 | 60 |

| | | |
|----|---|----|
| 連載 | 永続地帯を 100%自然エネルギーのまちが ゆく⑧ 直面する課題—岩手県葛巻町 馬上丈司 | 64 |
| 連載 | 『月刊自治研』を読む⑧自治研一〇年(その二) 篠田 徹 | 69 |

| | | |
|--|---------------|----|
| | 自治研センターの機関誌案内 | 75 |
| | 次号予告・編集部から | 76 |

熊本地震 現地レポート

熊本地震を中心にあいついだ地震により甚大な被害が発生しました。被災地の自治体職員・組合員は自身も被災しているなか、住民のために昼夜を問わず奮闘しています。被災者は救済されているなか、自治体職員・組合員の業務を支援し、行政機能の回復をはかるため、自治労として人的支援の取り組みを開始しました。現場の状況をレポートします(五四頁)。
(自治労総合企画総務局報道担当 三浦力)



蒲島郁夫熊本県知事に義援金を手交する川本委員長。荒金副委員長と自治労熊本本部の境委員長と徳富副委員長、西県議会議員も同席した。この後、熊本県と自治労で意見交換を行い、今後の支援を確認した。

度重なる地震により、倒壊してしまった民家。かろうじて、建っている民家もあるが、益城町周辺はほとんどの建物が全壊・半壊している。倒れた建物は、地震から1ヵ月たっても、まだこの状態のままだ。



熊本・宇城市の避難所(ウイング松橋(まつばせ))の様子。避難してきた方々に、朝・昼・夜と食事を提供している。この避難所にも自治労ボランティアが入り、支援を行っている。写真左の黄色のピスが自治労からの支援者。



西原村の担当者らから、現状や今後の動きの説明を受ける自治労本部と自治労熊本本部。西原村は益城町と同じく、震源地に近く、多大な被害を受けている。この後、西原村の首長と意見交換を行い、今後の支援を確認した。



熊本地震の支援行動に入る自治労ボランティア支援団が熊本に集合。前グループから現地の状況や業務の内容などを引き継ぎ、次の日から各被災自治体の支援行動に入っていく。